

見守りセンサー情報を「声」で検索 夜間巡視・緊急対応を支援する新機能「CDC声サポ」提供開始

株式会社bright vie
2026年2月2日

介護施設向けデータ連携プラットフォーム「Care Data Connect（以下、CDC）」を提供する株式会社bright vie（本社：東京都品川区）は、CDCに蓄積された見守りセンサー情報を、音声で検索できる新機能「CDC声サポ」の提供を開始しました。

本機能により、夜間巡視や多忙な現場において、スタッフがインカムや端末に向かって話しかけるだけで、入居者の状態や直近の出来事を音声で確認できるようになります。



開発背景

介護現場では、夜間や少人数体制の時間帯において

- ・画面を開いて確認する余裕がない
- ・手が塞がっていて端末操作ができない
- ・「今、誰が起きているのか」「さっきのアラートは何だったか」を即座に把握したい

といった課題が多く存在します。

CDC声サポは、こうした現場の声をもとに、「操作をなくし、確認を声だけで完結させる」ことを目的として開発されました。

CDC声サポとは



CDC声サポは、弊社が独自に開発したアプリケーション「CDCビューアー」に表示されている見守りセンサー情報を、音声で検索・確認できる機能です。

画面操作を行うことなく、声だけで必要な情報を呼び出せるため、夜間巡回や緊急対応時の負担軽減に貢献します。

また、**あくまで「検索・確認」に特化**しているため、現場の業務フローを変えることなくご利用いただけます。

利用イメージ（会話例）

夜間巡回中、インカムや端末に向かって

「今、起きている人を教えて」

と話しかけると、

「101号室 タナカ タロウさまが起きています」

と音声で回答。

また、

「さっき鳴っていたナースコールは何号室？」

「おむつ交換が必要な人を教えて」

といった問い合わせにも、直近の見守り情報をもとに音声で応答します。



確認できる主な内容

- ・現在起きている入居者
 - ・直近で離床があった入居者
 - ・ナースコールの発生状況
 - ・おむつ交換が必要な対象者の有無
 - ・お部屋にいない入居者様
 - ・バイタル情報
- など

※本機能では、記録の作成、メモ入力、分析・集計などの操作は行えません。

特長

- ・声だけで確認ができる
- ・夜間巡視、緊急対応を支援
- ・CDCに蓄積されたデータをそのまま活用
- ・現場業務を止めない「検索特化型」設計

対応環境

- ・Webブラウザ (Google Chrome)
PC／タブレット／スマートフォン
- ・iOSアプリ：Ver.1.0.36 (2026年2月2日公開予定)

※音声入力（音声→テキスト）の変換精度は、Web版よりもアプリ版の方が高い傾向があります。

※利用端末やOSバージョンにより、認識精度が異なる場合があります。

展示会・デモ公開予定

本機能「CDC声サポ」は、2026年2月開催の介護業界展示会「CareTEX東京」にて、実際のデモンストレーションを通じて初公開します。

会場では、夜間巡視を想定した音声検索の操作感や、見守りセンサー情報を声だけで確認できる利用シーンを、実機を用いて体験いただけます。

価格について

「CDC声サポ」の利用料金につきましては、お問い合わせください。

今後の展望

今後は、対応デバイスや音声インターフェースの拡充を進めるとともに、より現場に寄り添った音声検索体験の向上を目指してまいります。

CDC声サポを通じて、必要な情報を声だけで素早く確認できる環境を整え、介護現場における迅速な状況把握と、スタッフの負担軽減に継続的に貢献していきます。

「見る」から「聞く」へと情報との向き合い方を変え、介護現場における新しい働き方・判断スタイルの実現を目指します。

Care Data Connect (CDC) について

Care Data Connect (CDC) は、複数の見守り機器・センサーから得られる情報を一元的に連携・可視化する介護施設向けデータ連携プラットフォームです。現場の判断を支える「つながる見守り」を実現します。

▶ <https://care-data-connect.com/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社bright vie
TEL : 03-5436-7349